

平成 27 年 4 月 2 日

南 の 風 1 1 6

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

全国ミニバスケットボール大会が終わりました。女子の神奈川県代表**柿生フィリーズ**が、見事ブロックで優勝しました。柿生チームは予選を危なげなく抜け、決勝トーナメントの準決勝で千葉代表に競り勝ち（32対29）決勝に進みました。決勝の相手は香川代表でした。終始リードし見事優勝を果たしました。（72対31）柿生チームの選手の皆さん、関係者の方々、**おめでとうございます。**

男子の神奈川県代表の桜丘ミニスターズは、残念ながら予選リーグを抜けることができませんでした。健闘しました、桜丘チームの選手の皆さん、関係者の方々、お疲れ様でした。

昨年は男子の六ッ川チームが優勝しました。今年は女子の柿生チームが優勝です。神奈川県の子バスケのレベルの高さを全国に示すことができ、たいへんうれしく思います。

今年は所用のため、全国大会を観戦することができませんでした。詳しくお伝えすることができず、申し訳ありませんでした。

次に中学のジュニアオールスターでも、神奈川県の子バスケ代表が、見事に全国優勝を果たしました。ミニバスから育った選手たちが大活躍しました。代表選手並びに関係者の皆さん、**本当におめでとうございます。**神奈川県の子バスケ小中連携にも弾みがつくものと思います。

さてWJBLのファイナルが始まりました。JX-ENEOS対富士通の対戦です。4月2日に第1戦がありました。結果は77対51でJX-ENEOSが勝ちました。4日（土）は群馬県、5日（日）、7日（火）、9日（木）は代々木第2で開催されます。BS1でテレビ放送もあります。ご覧ください。

さて、昨年までWJBLの山梨クィーンビーズの指揮を執っていた、林 永甫（イム ヨンポ）ヘッドコーチが最後に寄せたコメントが気になりましたので書きます。ご承知のように、林氏は2005年に日本航空（現在は廃部）を率いてオールジャパンを制しました。以下林 永甫氏のコメントです。

「日本リーグにもどって戦いましたが、どのチームも3Pシュートに命を懸けてしまっています。国内であれば、それでよいかもしれませんが、国際試合では難しくなります。どのチームを見ても今は、作品がない。三菱戦に敗れましたが、我々が『ゲームに勝った』というのは、作品があるということです。三菱は3Pに勝敗の比重が委ねられてしまっています。その点うちは、やるべきプレイを持って戦い、その上で得点をとったわけですから、誰が観てもおもしろいバスケットだったはず。WJBL全体を見回しても、シュートがよければ勝つというチームが多い傾向にあります。これは批判ではなく、日本の将来を心配しているから言うのです。日本航空を指揮していた時は、日本リーグ全体としてプレイが上手かった。現在は結局やりやすいバスケットをしているだけ。バスケットの基本は2on2から2on1の状態をつくり、いかにノーマークでシュートに行くか、それをやるべきですが、今の日本は全体的に何も仕掛けず、ボールをクルクルと回しながら結局シュートを投げるだけ。うちの選手たちが小さいから簡単に打っているだけです。全体的にレベルダウンしていると感じていますし、とても心配です。」

如何ですか。続きがありますので、次号で紹介します。